

臓器移植者から

No. 13

すい臓を提供して下さった方へ

移植手術してから、約半年が経ちました。

実は、10月に拒絶反応がおきてしまって、すい炎になり、すい臓の働きが少し悪くなってしまいました。

今はインスリン(薬)の助けが少し必要です。「拒絶反応」という言葉を先生から聞いた時、正直、すごくショックでした。その言葉を聞いて1番に頭に浮かんだのは、サンクスレターのことでした。申し訳なくて書けない・・・と思いました。それでずっと、治療をしながら、悩んでいました。もし、本当のことを書いたら、ドナーさんやご家族の方が、がっかりしたり、悲しい思いをしたりするんじゃないかと思って・・・でも、このまま黙っているのは失礼だと思ったし、それは何か違う気がしました。それで、どうしていいのかわからなくて、看護師さんに相談しました。その看護師さんに「何でサンクスレターを書きたいと思ったの?」と聞かれて、1番大事なことを思い出しました。悪くなったことの報告をしたかったんじゃないなくて、感謝の気持ちを伝えたくて、書きたいと思ったことを。

インスリンの助けが必要になってしまっても、だからもうダメだとか、あきらめて治療をやめようとか、そんなことは思ったことはありません。それでも、今も感謝の気持ちは全然変わっていません。変わりません。だから、またお手紙を書かせていただきました。

12月で病気になってちょうど7年になります。7年前から今年移植するまで、体調が良い日がほとんどありませんでした。だから「元気」ってどういうことだったっけ?て忘れていました。でも、今は違います。体調の良い日がたくさん増えました。「元気」を思い出すことができました。今、「ああ、元気っていいなあ」って、すごく思います。きっと病気になってなかったら、移植していなかったら、「元気」なんて当たり前だと思って過ごしていたと思います。でも、私だから、ドナーさんやそのご家族の方、看護師さんやお医者さん、自分の家族や友達・・・みんなに支えられて生きてるということを、ずっと忘れないでいられると思います。どこにいても、何をしても、私は1人で生きているわけではありません。

いつも、ドナーさんからいただいたすい臓に助けられて生きています。だから、これからもずっと、ずっと、感謝していきます。そして、治療頑張ります。頑張って治療を続けていけば、いつかまた、インスリンの助けが必要なくなって、すい臓が正常に働いてくれるようになるかもしれないと内科の先生が言ってくれました。それを信じて、あきらめないうで、治療を頑張って続けていきたいと思います。いただいたすい臓をこれからもずっと大切にしていきます。

またお手紙書きます。

いつも、私の体の中で生きるのを助けてくれてどうもありがとう。

(私が移植手術した日は6月21日ミッフィーちゃんのお誕生日でした。

その日に私の体も生まれ変わったので。。)

ミッフィーより